

「富国有徳の理想郷—しずおか」を目指して・・・

第14号

県庁のしごとと改革ニュース



「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

日本一の「ひとり1改革運動」の取組成果を御紹介します！

静岡県では、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革・改善を実践する「ひとり1改革運動」に取り組んでいます。

この運動は平成10年度から始まり、これまでの取組件数は13万5千件を超え、経費の節減や時間の節約、県民サービスの向上に大きな成果を上げています。

平成22年度 14,597件の取組効果

134億306万円 + 38人 + 8,359件

節約と経済効果

5億8,705万円の事務経費を節減

- (例)・地権者や地域との協働により耕作放棄地解消の県費助成額を節減
- ・廃船予定の漁業取締船の定期点検を簡素化して点検費用を節減

7万3,551時間の事務時間を節約（職員38人相当）

- (例)介護保険メール配信システムを効果的に活用して作業時間を節約

128億1,601万円の経済効果が発生

- (例)「TOUKAI-0」事業の促進を効果的に行い、耐震補強工事戸数を大幅上積み

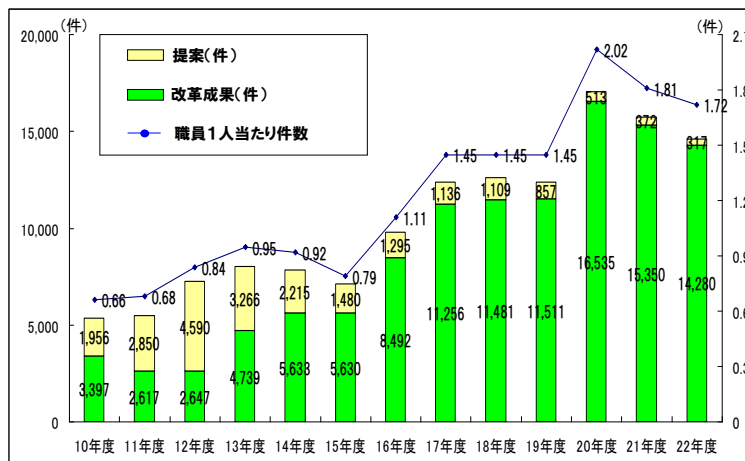
県民満足度の向上

県民の皆様の満足度が向上した取組 8,359件

- (例)・診察予約枠の時間設定の変更や診察状況の見える化等で待ち時間を短縮
- ・窓口業務を事務所入口正面に集約することで、窓口を探して迷う人が減少
- ・援護恩給事務の取扱マニュアルを整備して、市町での窓口事務を円滑化

※ 効果額等は、取組成果のひとつの目安として、見込みも含めた各所属の自己申告値を集計したものです。

<取組件数の推移>



<全国比較>

順位	県名	19~21年度取組件数合計
1	静岡県	45,138
2	埼玉県	28,457
3	東京都	5,477
4	福井県	3,076
5	岩手県	3,035

<安全・安心>

地域で育てる新生児医療

県立こども病院 新生児未熟児科

早産児の入院は長期化することが多く、比較的安定した患者で満床となってしまうため、本来こども病院で治療すべき急性期の重症児が受入困難となる等の問題がありました。

そこで、地域の二次病院の新生児入院基準を調査し、ある程度状態が安定した時点で患者を二次病院に搬送し、逆に重症児の紹介があった場合は断らない等の対策を実施しました。

その結果、重症児の受入を満床が理由で断ることがなくなり、総入院数も一昨年の約 2.5 倍に増加するなど、多くの効果がありました。



新生児病棟

<仕事の進め方の見直し>

建設業界との連携による林業用作業道等の開設基準書の策定

交通基盤部 森林整備課

林業専用の作業道は、安全を確保した上で、より低コストで整備することが課題でした。

そこで、作業道は一般車両が通行しないことから、当初の測量設計業務を簡素化して、関係団体の技術委員会と協働で策定した基準書をもとに、設計図を省略した標準断面により発注するようにしました。

その結果、測量設計に要する費用（年間約 2,600 万円）や時間（同約 56 時間）を節減するとともに、建設業者の施工管理事務も軽減できました。



完成した作業道

<IT活用>

迷い犬情報のWEB公開

健康福祉部 衛生課

保健所に捕獲された犬の情報は文書のみで、保健所間で情報の共有もなく、飼い犬を探している県民にとって分かりづらく、問い合わせにも手間がかかっていました。

そこで、新たに庁内ネットワーク上にデータベースを設け、県ホームページで迷い犬の画像等の情報を見ることができるようになりました。

その結果、1日平均 70 件以上のアクセスがあり、閲覧者や動物愛護団体から好評で、飼い主ではない方からの譲渡希望も多く寄せられ、殺処分頭数の削減にも寄与しています。



迷い犬情報WEBページ

<協働・連携>

気象災害時における農作物の被害状況の迅速な把握

東部農林事務所 企画経営課

台風等による農作物への気象災害のたびに、被害状況の把握や農作物への対応策の指導のため現地を巡回していますが、二次災害の危険や管内が広域のため調査に時間を要する等の問題がありました。

そこで、予め災害時における情報収集農家を選定し、異常気象等により災害が懸念された時点で農家から情報収集を行い、その内容をもとに巡回を効率的に実施することにしました。

その結果、被害状況調査等を効率的かつ安全に行うことができるようになりました。



災害発生後の状況

<やめる・へらす・かえる>

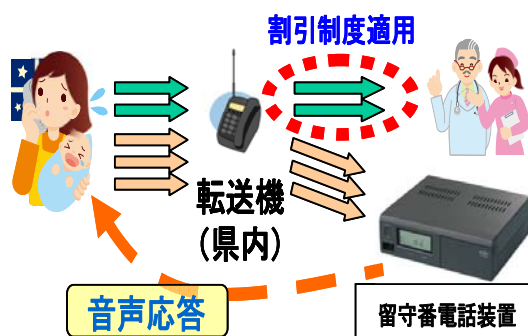
通話料割引制度と混雑時音声ガイダンスを活用して「静岡子ども救急電話相談」のサービス向上を実現

健康福祉部 地域医療課

子ども救急電話相談の時間延長にはコスト増の問題がありました。

そこで、時間延長に併せて、県外コールセンターへの2回線にNTTの割引制度を導入して通話料を削減するとともに、2回線を上回る相談には、新たに音声応答を3回線設置して再度かけ直してもらえるように案内しました。

その結果、通話料を当初から約70%（約220万円）削減し、時間延長のコストを殆ど吸収しながら、サービスを向上することができました。



割引制度を適用

<予算節減>

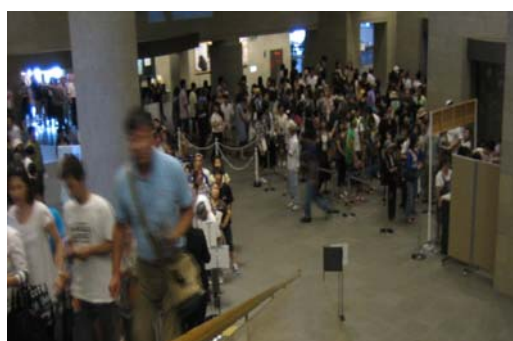
効果的な広報活動による予算節減

県立美術館 総務課

県立美術館では、展覧会開催の1ヶ月前になって前売券の販売を開始し、共催先の地元テレビ局でも、空き時間帯に決められた本数のスポット放送をするだけでした。

そこで、新たな前売券取扱先を開拓し、販売期間も1ヶ月前倒しするとともに、共催先の地元テレビ局に働きかけて、近隣県へのPRなど効果的な広報展開に努めました。

その結果、見込みを大幅に上回る入館者数を記録して観覧料収入が増加し、一般財源2,020万円を節減することが出来ました。



歴代第2位の入館者数を達成

＜県民サービス＞ 予約なのになんで！

県立こころの医療センター 外来

診察待ち時間が、一部の医師では 1 時間以上の方の割合が全体の 60%以上を占めるなど、予約システムが上手く機能していませんでした。

そこで、特に待ち時間の多い医師と協力し、予約枠の設定を 1 時間から 30 分に変更したり、診察室前に診察状況を表示する等の対策を実施しました。

その結果、1 時間以上の方の割合が 60%から 10%に減り、苦情や問い合わせも減って、待合室も混雑しなくなりました。



診察状況を表示

＜広報＞

ふじのくに3776友好訪中事業団による地域外交の推進のための広報

文化・観光部 国際・交流局ほか

「ふじのくに 3776 友好訪中団事業」の実施において、県民等に対し訪中事業参加をどのように効果的に広報するかが重要な課題でした。

そこで、全庁的な取組体制を整備するとともに、県民向けの相談窓口を設置して利便性向上を図り、また静岡ロケを行った中国のテレビドラマの放映に併せて商品の造成を行うなど、国内外で様々な PR 活動を行いました。

その結果、当初計画を大幅に前倒しして 9 月末には目標の訪中人数を達成したほか、対中国友好都市交流提携賞の受賞や中国メディアへの露出増加など様々な効果を生み出すことができました。



中国テレビドラマも観光PRに活用

＜最近の主な取組事例と効果＞

年度	主な取組事例	効果	
19	避難所運営ゲーム（HUG）で楽しく学ぶ	県民満足度向上	地域防災力の向上
	使用停止小型焼却炉を短期集中撤去	約 2 億 8,700 万円	経費節減と工期短縮
20	既存市道を県道に振り替えて整備を推進	約 26 億 6,000 万円	経費節減と工期短縮
	血栓症治療に用いる新しい固定用具を開発	県民満足度向上	患者さんの負担軽減
21	山村部の地籍調査を簡易な方法に変更	4,200 万円	調査費用を節減
	ドレーントラブルを予防する術後病衣を開発	県民満足度向上	患者さんの負担軽減

静岡県 経営管理部 行政改革課

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6 電話：054-221-2912 FAX：054-221-2750

E-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>